

# 産業界との連携事業 ～事故防止と安全作業の心がまえ～

日 時 平成29年9月11日（月）3時間  
場 所 電気科1年教室  
授 業 工業技術基礎  
対 象 電気科1年  
テーマ 「事故防止と安全作業の心がまえ」  
講 師 株式会社ユアテック福島支社  
福島孝貴様 清水貞夫様  
有限会社日下部電工 日下部清様

## 1 はじめに

昨年に引き続き、本研究では外部の専門家を招き、科目の内容にある「事故防止と安全作業の心がまえ」に関する授業を実施した。実際に産業界で行われている危険予知訓練（KYT）の演習を行い、安全に対する理解を深めさせた。また、産業界と連携することが本校の教育方針である「実社会に通用する人材の育成」を実現するために、不可欠であると考えた。

## 2 授業内容

### 1 校時目 講義

- ・全国の労働災害発生状況
- ・事故防止と安全作業
  - (1) 労働災害は何故起きるか。
  - (2) ヒューマンエラーを知る。
  - (3) 人間の弱点を確認する。

### 2 校時目 演習

危険予知訓練（KYT）の演習を5人程度のグループで行う。）

#### 演習 室内の清掃

### 3 校時目 発表・振り返り

## 3 危険予知訓練

### 4 ラウンドKYT（①現状把握、②

本質追及、③対策樹立、④目標設定の4段階）で話し合いを行い、最終的にチーム行動目標と指差し呼称項目を策定する。

### 演習1 室内の掃除

室内の清掃の様子です。資料や古紙の整理、蛍光灯の交換などしています。うっかり水をこぼしてしまいましたが、みな作業に気を取られ気にはしていません。

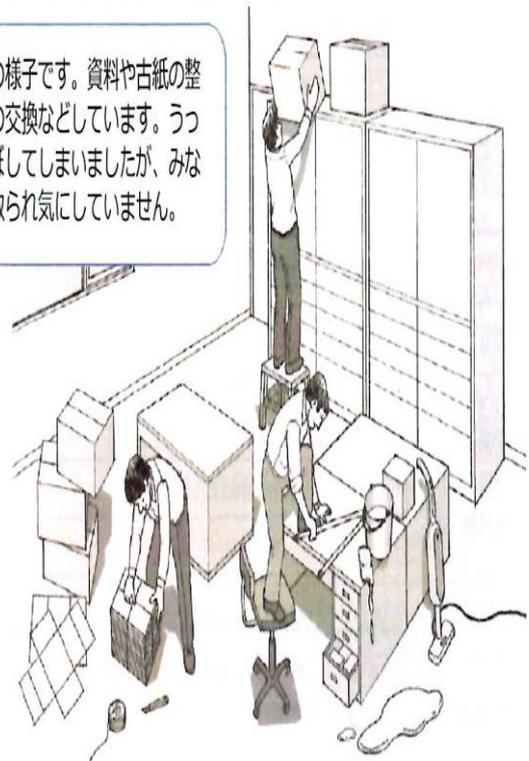




写真 グループでの危険予知訓練

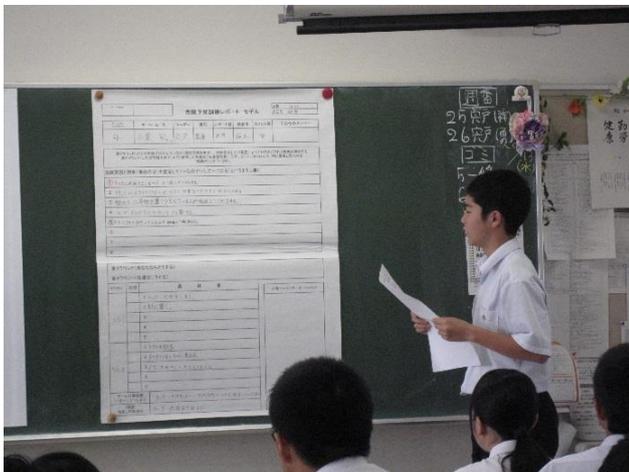


写真 発表の様子

#### 4 生徒たちが作った危険予知訓練の一例

##### 演習

##### ラウンド2

- ・いすが動いて転んで頭を打つ。 ・掃除機のコードで転ぶ。
- ・重いダンボールを持ち上げた時、バランスを崩して転倒する。
- ・掃除機に水がつきショートし発火する。
- ・バケツの水がこぼれ掃除機のコードにつき漏電する。
- ・カッターの刃が出た状態で床においてあるので刺さる。

##### ラウンド4

- ・踏み台の下に滑り止めを置く。 ・ヘルメットをつけて頭を守る。
- ・水をふき取る。 ・掃除機のコードを抜いておく。
- ・カッターの刃をしまう。 ・2人で協力して作業する。

行動目標

- ・カッターは注意して使用し、使用後は刃をしまう。 ・支える人をおく。
- ・滑り止めを下におき、踏台を固定しよう。 ・協力して行い、足元を確認しよう。

指差し呼称

- ・カッターの刃 ヨシ！ ・足元確認 ヨシ！ ・滑り止め固定 ヨシ！
- ・水ふき ヨシ！ ・踏み台確認ヨシ！

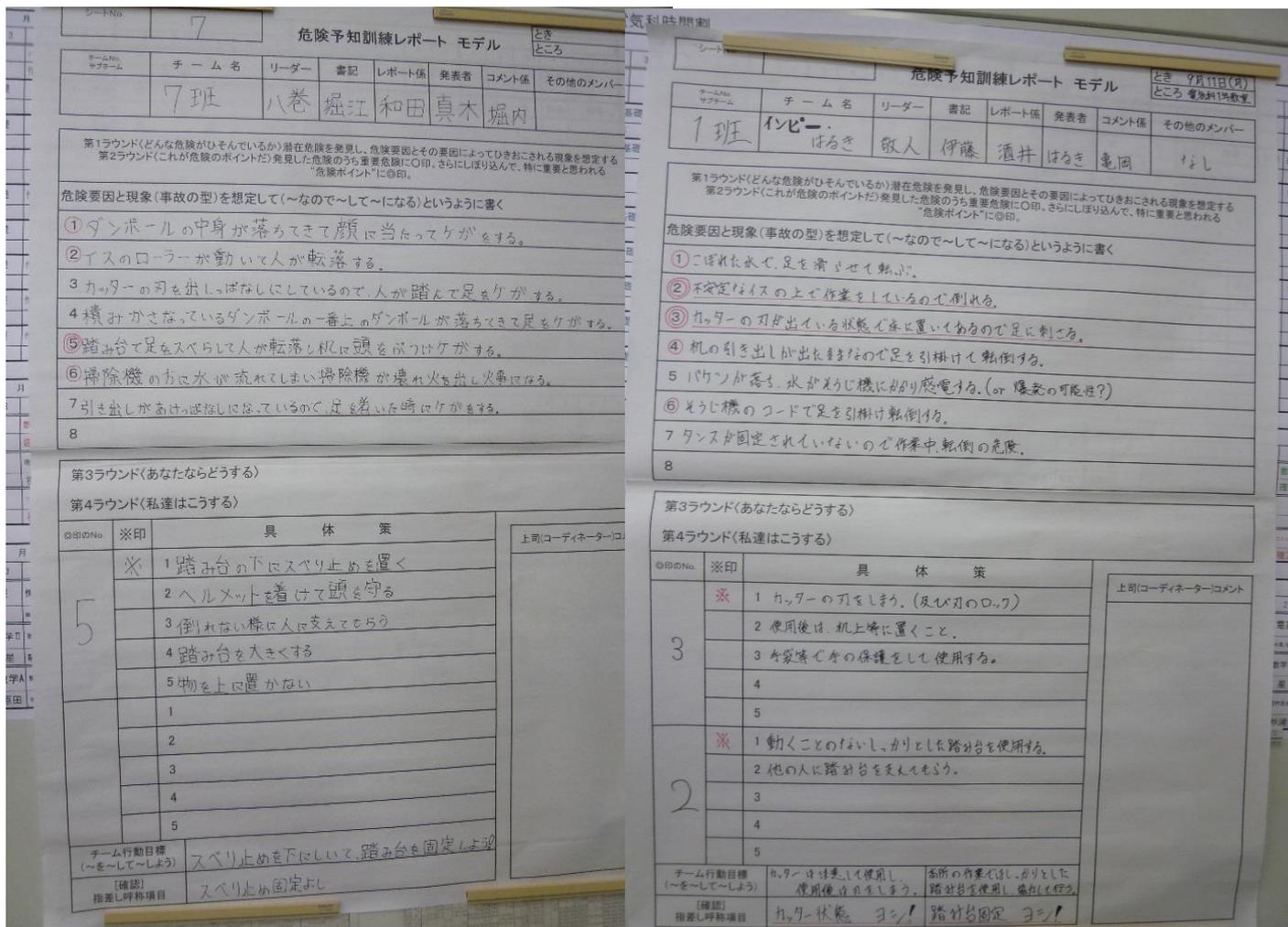


写真 発表に使用したK Y Tシート

## 5 生徒へのアンケート結果

安全に対する理解を深めることができましたか。

安全に対する意識を今後の学校生活に生かせると思いましたか。

危険予知訓練（KYT）には積極的に取り組みましたか。

危険予知訓練（KYT）ではグループでの役割をきちんと果たせましたか。

工業の専門科目をこれから学んでいくことに対して、意識が高まった。

思う	どちらかといえ ば思う	どちらかといえ ば思わない	思わない
31	7	0	0
32	6	0	0
25	13	0	0
27	10	1	0
27	11	0	0

## 6 生徒の感想

- ・危険予知訓練を行い、安全への意識を深められた。
- ・普段は気づかない危険を見つけるのは難しかったが、KYTを通じて周りを見渡す事が必要ということがわかった。
- ・他のグループの発表を聞いて、自分が思っていなかったことや対策を知ることができ良かった。
- ・安全の原点が5Sということがわかった。
- ・産業界で安全性をどれだけ重視しているかがわかり、十分に注意を払わなければ、命に関わるということを今まで以上に確認することができた。
- ・企業の方に来ていただき本格的にKYTをやってもらい、気付くことがいっぱいあった。
- ・将来、電気関係の仕事に就きたいと思っていたので、今回の授業がとても役立った。
- ・危険について意識してみると、小さな危険がたくさんありました。これからは日頃から注意して生活したい。

## 7 おわりに

産業界との連携ということで、(株)ユアテックの福島様、清水様、日下部電工の日下部様に大変お世話になりました。工業技術基礎の内容を踏まえながら、生徒が協働で考えるグループ活動を取り入れ、安全に関することを身に付けさせることができたのではないかと思います。特にKYTの発表をした後、班毎に福島様からKYTの内容について、ご教示を頂き大変参考になったと思います。産業界で活躍されている方からの実践的なアドバイスもあり、学校だけではここまでの授業は成しえなかったと思います。生徒へのアンケート結果からも、大変良い取り組みだったことがわかります。今後も産業界と連携しながら、実社会に通用する人材の育成を図りたいと思います。